

むらさきそう

西東京市立田無第一中学校
校長 辻 康一

(住所) 西東京市南町6-9-37

(電話) 042-462-2811

URL <https://www.nishitokyo.ed.jp/j-tanashi1/>



修練と勇気 あとはゴミ

合唱コンクールが近づいてきました。これまで音楽の時間で練習を重ねてきましたが、8日からはクラスでの練習も始まりました。学校中に歌声が響き渡り、私が一番好きな季節がやってきました。今回は、これから練習を重ねて大きな舞台に立とうとする生徒のみなさんへ、一つのお話を送りたいと思います。

女優であり、作家でもあるタレントの黒柳徹子さんは、演劇の舞台の稽古をするときに、こんな言葉を思うのだそうです。

「修練と勇気 あとはゴミ」

これは、その類まれな声質と演技力でオペラ界に革命をもたらしたマリア・カラスさんが「オペラ歌手にとって一番必要なものは何か」と聞かれたときに答えた言葉です。オペラは楽譜を見ればわかるように、それぞれとても細かい音があります。しかし、彼女はその全部に対して「絶対にこれでなければダメだ」という音を私は出してきた」と言い切っています。それくらいの修練をし、身に付けてきたからこそ彼女は20世紀最高のオペラ歌手と呼ばれるようになったのでしょう。

黒柳さんは自分が舞台に立つために、1か月半もの稽古の間、2000行におよぶセリフを覚えなければならないと言っています。その間は、この「修練と勇気 あとはゴミ」という言葉を思いながら、みんなとお酒を飲むことも、ご飯を食べに行くこともなく、稽古場から家に帰るとずっとセリフを覚えたり、勉強をしたりするのだそうです。そうして全神経をそこに集中させて、ひとたび舞台に上がれば、マリア・カラスさんも黒柳さんも、勇気をもって自分の歌や役割を演じ切るのだと思います。

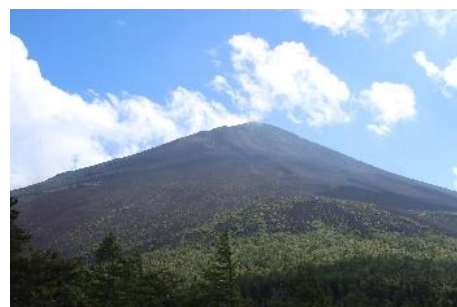
生徒のみなさんも、合唱コン当日に向けて、技術を磨き上げていくわけですが、その中で、協力し合うこと、自分の意見をもつこと、相手を思いやる気持ちをもつこと、そして、お互いを高め合うことも学んでいきます。そのように、技術だけでなく心を磨き上げていくからこそ、合唱コンクールには価値があります。どうか、勇気をもって舞台に立てるよう、聴いている人々に感動を与えられるよう、修練を積んでいってほしいと思います。

もちろん、これは合唱に関してだけではありません。この先の人生において、自分が何かを成し遂げようとするとき、自分の心を強くもたなければならないとき、この言葉を思い出してください。

【 IJ 学級 移動教室 】 (9月17日～19日)

IJ学級は、富士山周辺で、2泊3日の移動教室を行いました。1日目は、富士山世界遺産センターにて富士山の自然や世界遺産に認定された富士山の魅力についてガイドさんの説明や展示物を見て学びました。富士山五合目では、標高2300mの高さから見る景色と雄大な富士山に、生徒たちは圧倒されていました。2日目は、白糸の滝、まかいの牧場、河口湖フィールドセンターへ行きました。河口湖フィールドセンターでは、富士山の噴火によってできた「溶岩樹型」の中に実際に入りました。3日目は、富士サファリパークに行きました。バスの中からライオンやクマ等の迫力ある姿を見たり、カンガルーやカピバラ等にも触れたりしました。普段体験できないことも多く、実りのある3日間になりました。

さらに、寝食を共にして仲を深め合ったり、責任を持って係の仕事に取り組んだりすることで、自信が付き、1人1人が成長したように感じます。この移動教室で得たことを普段の生活にも生かしてほしいです。



【 第二学年 職場体験 】 (9月17日～18日)

2学年の総合的な学習の一環として、職場体験学習を行いました。地域の事業所の皆様のご協力のもと、社会の一員としての学校内の授業では体験できない貴重な経験をさせていただきました。慣れないことに緊張しつつも、各事業所のみなさまに丁寧にご指導いただき、無事に2日間の体験を終えることができました。

生徒からは、「仕事は疲れたけれど、すごく達成感があった」「人の役に立つことにやりがいや楽しさを感じた」との声も聞かれ、充実した2日間を過ごすことができました。2日間の学びを普段の生活や将来の進路選択に生かしてもらいたいと思います。



【 生徒会役員選挙 】 (9月24日)

9月24日(水)に生徒会役員選挙の立会演説会が行われました。選挙管理委員会は公正・公平な選挙となるように7月から準備を行ってきました。

立候補者も、演説の内容を考えたり、ポスターを書いたり、広報の下書きをするなど夏休みから準備を始めていました。また、2学期に入るとたすきをつくるなど本当に忙しい日々を送っていました。選挙運動期間になると、お昼の放送演説で公約を伝え、朝の挨拶運動では「おはようございます。清き一票をよろしくお願いします。」と全校生徒に声を届けていました。演説会当日は応援演説者とともに立派なスピーチを行いました。

演説会終了後に行われた投票では、選挙管理委員の立ち合いのもと、一人ひとりが自分で考えて選び、投票箱に票を投じました。放課後の開票作業にも真摯に取り組み、選挙に参加する意義や一票の大切さを学ぶことができました。

新しく生徒会執行委員になった生徒には、これからの1年間、一中をよりよくするために精一杯活動してもらいたいと思います。よろしくお願いします。